

## 安佐医師会病院開設までの経緯

昭和 47 年(1972 年)1 月	安佐地区病院組合設立 (可部町、安古市町、佐東町、高陽町、祇園町で組織)
昭和 47 年(1972 年)3 月	病院開設許可
昭和 47 年(1972 年)4 月	可部町、広島市に合併
昭和 47 年(1972 年)8 月	祇園町、広島市に合併
昭和 48 年(1973 年)3 月	安古市町、佐東町、高陽町、広島市に合併
昭和 55 年(1980 年)4 月	広島市の政令指定都市への移行
昭和 55 年(1980 年)5 月	旧広島市立安佐市民病院の開設(病床数 190 床)
平成 4 年(1992 年)5 月	旧広島市立安佐市民病院北館の竣工(病床数 527 床)
平成 27 年(2015 年)9 月	広島市が老朽化・狭隘化等により建て替える旧安佐市民病院の機能分化整備方針を決定。高度急性期医療を新病院(荒下地区)へ、日常的に高齢者等の地域住民が受診できる機能を現在地の北館に残置し、再整備する方針
平成 28 年(2016 年)8 月	広島市が、北館に整備する病院の設置・運営主体を安佐医師会に要請
平成 29 年(2017 年)3 月	安佐医師会臨時総会において、安佐市民病院の北館に整備する病院の運営受託を決定  松井広島市長、影本広島市立病院機構理事長、吉川安佐医師会長の3者による病院の設置・運営に向けた合意書を締結
平成 30 年(2018 年)4 月	安佐医師会内に安佐医師会病院開設準備室を設置(広島市からの派遣職員1名からスタート)
平成 30 年(2018 年)10 月	第1回広島圏域地域医療構想調整会議において広島医療圏北部地域における公立・公的病院再編計画を承認
平成 31 年(2019 年)2 月	広島県地域医療構想・広島医療圏北部地域における公立・公的病院再編計画を厚生労働大臣が承認  ・安佐市民病院 527 床→434 床(精神病床 20 床を新設) ・安佐医師会病院 102 床(新設) ・J A 吉田総合病院 340 床→311 床(精神病床の廃止) ・安芸太田病院 149 床(変更なし) ・北広島町豊平病院 44 床→0 床(無床診療所に移行)

令和元年(2019年)4月	<p>旧広島市立安佐市民病院内に機能分化推進室を設置          (元安佐市民病院副看護部長の中林ほか2名からスタート)、          安佐医師会開設準備室と協働し、地域包括ケア病棟、緩和ケア          病棟の運営体制について検討を開始</p>
令和2年(2020年)3月	<p>安佐医師会病院運営システム計画を策定。計画に沿って人員確保、          各部門マニュアル、運用手順、医療機器・什器備品の選定          などを進める。</p>
令和3年(2021年)3月	<p>広島市立病院機構において北館の改修工事を着工。広島市が改          修工事費を負担(安佐医師会へは無償貸与。今後の建物の大規模          修繕及び設備機器の保全管理も負担)</p>
令和4年(2022年)5月	<p>広島市立病院機構が移転新築した北部医療センター安佐市民病          院を開院</p>
令和4年(2022年)11月	<p>安佐医師会理事会において、安佐医師会病院の病院長に、北部          医療センター安佐市民病院病院長及び安佐医師会副会長の土手          慶五を任命          また、総看護師長には、安佐医師会病院開設準備室参事であ          り、元安佐市民病院副看護部長の中林八千代を任命</p>
令和5年(2023年)3月	<p>安佐医師会病院運営システム計画に沿って人員確保を進め、          開院までに、医師5名、看護職67名ほか合計99名を確保</p>
令和5年(2023年)4月	<p>松井広島市長、竹内広島市立病院機構理事長、辻安佐医師会長の          の3者による管理運営協定書を締結          安佐医師会病院開設</p>